

## 第5回京都府子育て支援条例検討委員会の開催結果（概要）

### 1 日時・場所

平成19年6月7日（木） 18:00～20:00  
ハートピア京都第5会議室

### 2 出席者

市村委員、岡本委員、澤田委員、田井委員、西川委員、藤本委員、八槇委員、  
山下委員

### 3 主な意見

- ・子どもの最善の利益に触れることは必要。
  - ・事業者による雇用環境の整備の促進として、仕事と家庭の両立についての普及、支援策の導入を図っていただきたい。制度があるというだけで、意識が変わってくるものである。
  - ・子育ては、まずは親が責務を有するという基本が忘れられるのではないかと危惧していたので、保護者の責務が入ってよかった。
  - ・色々な環境におかれ責務を負いきれない保護者もいる。子育て支援条例で保護者の責務を課すことはどうかと思う。
- 検討委員会において保護者の役割について何らかの形で触れるべきとの意見が多かったことから規定するもの。
- ・今ある施策の内容を充実することも大事である。
  - ・条例は抽象的なものであり、条例の中に組み込まれている子育て支援基本計画をどのように作るかが大事。数値目標を決め、いつまでにやっていくかを計画に盛り込むことが大切であり、早急に計画を作り、府民に「条例に基づきこういうことをやる」というのを出さないと、「条例って何だったの」という印象を与えることになってしまう。
  - ・骨子案に比べると、理念がシンプルになったことは残念。もう少し条例らしくない府民に分かりやすい表現があってもよかったと思う。

### 4 その他

- ・条例案を6月府議会に上程
- ・本委員会は本日でひとまず区切り。